

埼玉県

背景・課題

「働き方改革」の推進を目指して

高度化する県民ニーズに応えるため、庁内の定型業務等を集約し効率化をはかり、職員が創造的な業務に専念できる時間を創出。



主な定型業務

- ■会議録の作成 ■各種データの集計 ■データの照合・読み合わせ
- ■資料コピー・資料組み ■名刺の作成 ■個別ファイルの作成
- ■各種文書の封入封かん ■ポスター、チラシ、啓発品等の発送準備

背景・課題

多様な人材が活躍できる場を

障害のある方など多様な人材の特性に合わせた「協働の場」を創出。



■運営体制

スタッフ31名(会計年度任用職員、うち9名が障害者)、常勤職員3名で、総勢34名。

スマートステーションの誕生

2つの目的



ICTを活用した業務処理。

一括処理よる作業の標準化。



障害者雇用の推進。

障害者と健常者の協働。





定型業務の効率化



ICTを活用した受発注システムの導入

スマートステーションの開設にあたり、業務の発注から完了までのすべてをシステム上で管理できる、受発注管理システムを構築。

発注システム



受注管理システム





業務の依頼をする職員の手間を軽減。さらに受注するスマートステーションでは、円滑な業務管理が可能。



ICTを活用した業務

会議録の作成やデータ集計などの業務を集約し、一括処理。

AI-OCRやAI音声認識などのICT機器を積極的に導入。



















き添いの方用

夢を見つける!リアル体験教室 アンケート 実施日 令和3年9月4日 教室名 No.12 保育士になりたい

はご参加いただきありがとうございました。今後の参考とするため は、機械で読み取って集計しますので、はっきりした文字でご記入くだ

子様の学年に**✓**マークを付けてください。 □ 4年生 □ 5年生 □ 6年生

トロの教室で1番印象に残っているのは何ですか?(具体的)

制作体験がう供たすも失生たちも笑顔で楽しとても印象的でして。 伝言おえかきゲーム も見をしようれが水来ました!

2 印象に残ったこと

制作体験が多供に生失生たらも笑顔で乗したりにやっていたのか、 とけらの象のりでした。 伝言おえかきゲーム も見てる 親も一条者に 受しないれ出来去した!

制作体験が子供たちも先生たちも笑顔で 楽しそうにやっていたのがとても印象的 でした。伝言おえかきゲームも見てる親 も一緒に楽しむことが出来ました!



AI音声認識によるテキスト化、AI-OCRによるアンケートの集計など、ICT機器の活用で スピード・精度・効率性を高める

定型業務の効率化



標準化·一括処理

庁内各課の定型業務を集約し、一括処理。

自動裁断機、計数機、紙折り機などの事務処理機器を整備。

























各課がバラバラだった作業手順を統一し、事務業務の様式を標準化することで、効率性を高める。

定型業務の効率化



定型業務の実績

定型業務の受注件数

令和2年度 実績

4,074件

時間の創出効果

「業務時間を短縮できた」と回答

89.6%

※令和3年1月実施の職員向けアンケート結果より(回答数473人)

スマートステーションでの作業時間例

■会議録作成(2時間会議)

6時間

(手作業の文字起ごし)



1時間 (AI音声認識によるテキスト化)

■アンケート入力集計(120枚)

7時間

(各課で対応の所要時間)



3時間

(AI-OCR活用&確認作業)



業務時間が短縮できて大変助かる



単純作業の負担が軽減された



スタッフが業務に慣れていて早い

多様な人材の協働の実現



お互いに理解・尊重する組織へ

働きやすい環境整備と就労支援アドバイザーによる定期的なサポート 常勤職員、健常者スタッフ、障害者スタッフ、それぞれを対象に研修の実施。















flat

障害者スタッフの活躍と障害者理解

















障害者スタッフには、幅広い業務経験を提供して、就労意欲の向上とスキルアップを支援する

スマートステーションの可能性



「1+1=3」を目指して

ICTを活用した業務の効率化

ICT活用による、定型業務の効率性向上を 図り、新たな業務の集約を目指します。



多様な人材の協働

障害者と健常者の理解を深め、互いを尊重し、 成長できる職場をつくります。



職員が創造的な業務に専念



効率化で得た時間で、創造的な仕事に専念する時間を創出し、 働き方の改革を推進します。



「働き方改革」と「障害者雇用」を推進します

働き方改革の推進

職員一人一人が創造的な仕事に 専念できる時間を創出し、県民サー ビスの向上を目指します。

障害者雇用の推進

県庁の働き方改革を支えるのは、 多様な人材。障害者雇用の推進 と庁内理解を深めていきます。



多様な人材が 協働して活躍する プラチナ社会の実現へ



ICT活用でさらに広がる可能性

ICT活用による人材育成・スキルアップ 多様な人材の社会参加を促すコミュニケーションツール テレワークによる多様な働きかた



埼玉県

総務部人事課 スマートステーション担当